

令和5年 7月21日(金)

# あさひの日だまり

NO.16

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～プール参観ありがとうございました～

楽しんでいる姿を見ていただけたら何よりです



プール参観へのご来校ありがとうございました。灼熱の太陽のもと、子どもたちは水しぶきをあげて楽しそうに体を動かしていましたが、ご家族の皆様には日傘をさしていただいたり、小さなテントの日陰で何とか見学していただいたり、体育館の陰に体を寄せて参観していただいたりと、ゆっくりと参観していただくスペースを用意できず、本当に申し訳ありませんでした。

「お子さんは元気に泳いでいましたか？」とお聞きしたら、「はい、楽しそうに泳いでいてよかったで

す」「子どもの元気な姿が見られて、来てよかったです」とお返事をいただきました。私も授業を見させてもらいましたが、私どもの子どもの頃の様子と随分違って驚きました。私が小学生の時は、コースに何人か割り振られて並ばされ、先生の笛の合図でどんどん飛び込まされてひたすら泳いで1時間が終わっていました。自分の課題が少しずつでも解決していく実感がつかめず、上達した実感のないまま一夏が終わっていったような感じがしていました。(もしかすると、私がちゃんと授業を受けていなかったのかもしれませんが)

一方、目の前で行われている授業は、自画自賛のような感じで大変申し訳ないのですが、どの授業も、子どもたちが楽しめる時間が準備されていたり、泳ぎのポイントがちゃんと示されていたりして、「こんな授業なら私もきっと水泳嫌いにならなかっただろうに」と思いました。

昨年度はなかった水泳参観を今年は計画してみました。お子さんの様子はいかがだったでしょうか。思いっきりの笑顔で水泳を楽しんでくれたのでしょうか。真剣な表情で、自分の課題に立ち向かってくれたのでしょうか。友だちとやり取りしながら練習を楽しんでくれたのでしょうか。子どもたちが水泳を楽しんでいる様子を見ていただけたらそれが一番うれしいです。

「ねえねえ校長先生、母さんがあそこに来てる！」と嬉しそうに声をかけてくれた児童がいました。「今日お母さんが来るって言ってた！」と朝の昇降口で声をかけてくれた児童もいました。口では「来なくていいよ」などということもありますが、子どもにとって、自分のためにご家族が学校まで足を運んでくれるということはやっぱりうれしいことなのだと思います。お仕事で手が離せないこともあると思います。ご無理をされないようにしてください。ご都合がつけば、短時間でも結構です。次の機会にまたご来校いただけたら幸いです。

～体育館の床がきれいになります～

子どもたちには不便をかけているのですが、体育館がずっと使えない状態が続いています。理由は、まず、ずっと使っていなかったバスケットゴールのワイヤーが緩んでしまい、撤去作業をする必要が生じてしまいました。この作業に1週間ほどかかりました。次に、痛みの激しかった床の塗り直しをしてもらうのに夏休みまでかかってしまうことになりました。町教委には子どもたちのための予算をつけて下さり、心から感謝してお



ります。子どもたちには不便をかけていますが、きれいな床の上で思いっきり走り回れる日までしばらく辛抱してもらいたいと思います。

作業中の体育館をのぞいてみました。汚れた表面が削り取られ、真っ白い木目が現れていて、びっくりするほど床がきれいになっていました。まるで新品の体育館です。

## ～クラブがありました～

### 地域指導者の皆様に感謝です

20日に第3回のクラブ活動がありました。体育館が使えないということで、荒神山の体育館へバドミントンと卓球クラブの人たちにはバスを利用して移動してもらいました。私は、1回目と2回目の時に用事があってクラブの様子を見させてもらうことができませんでしたので、今回が初めてのクラブの見学でした。活動の様子を見させてもらって一番感じたことは、とにかくその道に通じた人たちの言葉や動きには重みや技術的な専門性があるということです。私たち職員ではどうやってもそのことは子どもたちに伝えられないと思う一言をいたるところで耳にすることができました。「専門的な力を持った方に指導をお願いして本当に良かった」と心から思いました。なんといっても、自分の体験したいことをより深いところまで教えてもらえる子どもたちが幸せだなと思いました。

あるクラブで、指導者の方にお礼の言葉を伝えたところ「私の方こそ子どもたちと一緒に活動が出来て楽しい思いをさせてもらっています」とおっしゃっていただきました。「そういつていただけると本当にうれしいです」とお話ししました。子どもたちにとっても、そして指導して下さる地域の方にとっても楽しい時間となれば素敵こんなに素敵なことはないと思いました。

子どもにとってはこのクラブで身につけたことが一生の宝になる場合もあると思います。あと5回ほどのクラブ活動ですが、子どもたちにとって新しい発見や驚き、「もっとやってみたい」とか「家でも試してみよう」という興味の広がり、そういう感動の機会に巡り合えることを願っています。そういう可能性を与えて下さっている地域の指導者の皆さんには改めて感謝の思いです。



上段左から：茶道の心についてのお話。だし巻き卵に挑戦。紙コップで夏らしい飾り物作り。

中段左から：走法を学ぶ。エースドッジ

下段手前は荒神山でバドミントン。奥が卓球